



社会福祉

法 人

豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2004年(平成16年)3月31日

第39号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒561-0881 豊中市中桜塚 2-28-7 Tel (6848)1000

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアグループ
あれこれ

子育て・家事援助ボランティアグループ 「そよかぜ」 編



今日はみんなで水遊び! (ソーセージクラブ)



抱っこしていたらスヤスヤ... (1歳半健診)

ボランティアグループ「そよかぜ」の活動は、子育て支援と家事援助を行っています。現在の登録メンバーは17名です。

子育て支援の主な内容は、①市内4ヶ所で行われています1歳半健診、②ソーセージクラブ(双子ちゃんの親子サークル)、③ポッポの会(ダウン症児の会)です。それぞれお子様の見守りを2~3名にて行っています。また、個人の家庭より、例えば産前、産後の子どもの見守りや遊び相手などの依頼が時折あり、その度に活動しています。家事援助の場合は、個人の依頼により、お買い物や、お掃除、お話し相手などのお手伝いをしております。

また年に1回程度、お子様に関わっておられる専門家の方を講師にお願いし、勉強会を行っています。

近年、テレビ・新聞などでお子様に関する話題が多く報道されていて、心が痛みます。少しでも手助けができればと思いメンバーみんなでがんばっております。(そよかぜ N.N.)

活動に興味のある方は...

★定例会

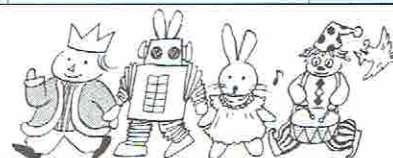
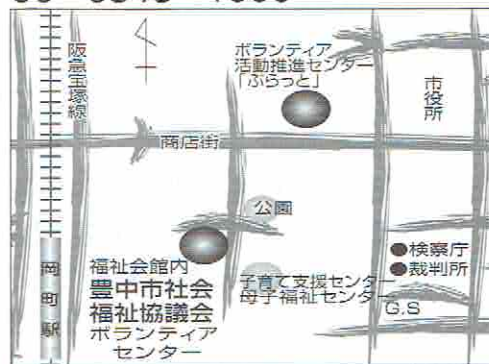
毎月第3火曜日 10:00~11:30

★場 所

ボランティア活動推進センター
ぷらっと

★電 話

06-6848-1000





第11回 豊中ボランティア

子ども遊びコーナー

コーナー担当
老人大学 那須幸子さん

折り紙でフェスティバルに参加するようになって今年で5年目。折り紙コーナーに遊びに来てくださる方もいろいろで、小さな子ども達は自分の好みで、若い方は次のステップへ進むため、高齢の方は覚えるのに一生懸命…。でもみんな折り紙は楽しいと時間のたつのも忘れ懸命に仕上げています。

私たちも、折り紙の楽しさプラス、遊びに来てくださった方々の熱心さで、夢中に一日を過ごしました。私たちは4名のグループから始まり折り紙クラブとしてやってきましたが、これからはボランティアグループとして活動してみようかと思ったりもしています。

「地域福祉活動計画」中間報告会

豊中市社会福祉協議会では、昨年の6月から「地域福祉活動計画」の策定を始めました。

地域福祉活動の担い手である市民や地域で活動する団体や事業所などが連携して推進していくための「活動計画」として進めています。

パネルディスカッションには、約300人の聴衆が集まり、予定時間を超える有意義なディスカッションになりました。

まず、基調講演として関西学院大学の牧里先生の「豊中市地域福祉活動計画」策定状況が報告され、その中、特に「福祉は市民みんなのもの、専門家だけのものではない」や「これからの福祉は官と民の協働で」等の言葉が強く印象に残りました。パネラーの皆さんからも、それぞれの立場から福祉に関する経験豊かな意見提示がなされ、聴衆は熱心に聞き入っていました。(アクセス M. Y.)

2月29日(日)、豊中市民会館で開催されました子ども遊びコーナー、企業・団体社会貢献パネさまざまな企画が用意され、子どもから大人まで

募金コーナー ご協力ありがとうございました

イラン南東部地震への募金を行い、多くの方のご協力により、15,314円の募金が集まりました。

昨年12月26日早朝、イラン南東部で発生した地震では、死傷者は5万人以上に達するといわれており、建物も70%が倒壊している状況です。

募金は、日本ユニセフ協会へ送金し、被災者への支援金として活用されます。ご協力ありがとうございました。



左から

・コーディネーター :

牧里 毎治先生(関西学院大学教授)

・パネラーの皆さん

榎井 縁さん(とよなか国際交流協会)

井上圭祐さん(特別養護老人ホーム 淳風とよなか)

宮本婦佐子さん(緑地地区福祉委員会)

吉村史生さん(障害者福祉作業所連絡会)

中 秀俊さん

(企業・団体ボランティアネットワークとよなか)

松井晴美さん(豊中市 健康福祉部 地域福祉課)

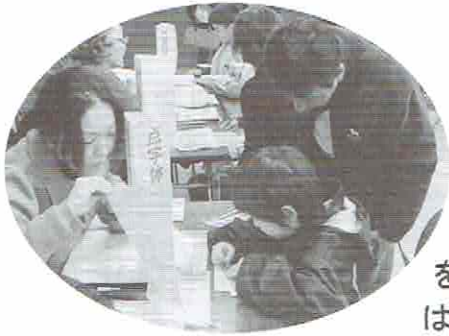
フェスティバル

た。ファミリーボランティア体験コーナー、
ル展示、福祉の店「なかま」の出張店などさま
約1000人の方々が来場されました。



福祉の店「なかま」出張店も大賑わい

ファミリーボランティア体験コーナー



8ヶ所のコーナー
を巡るスタンプラリー
は関心のある親子

連れで賑わいました。5つのスタンプを集めれば素
敵な景品をゲット！

①「ユウあい号リフト付自動車試乗体験」豊中ア
ッシー、②「アイマスク体験」みちしるべ、③「ホーム
ページコーナー」アクセス、④「車椅子体験」みちし
るべ、⑤「インスタントシニア体験」ステッキ、⑥「手
話体験」ゆうなぎ、⑦「対面朗読体験」ヴォイス、⑧
「点字体験」豊中点訳会、つくしんぼ。

ユウあい号では「利用される方の気持ちになっ

てくださいと説明します。初めて車椅子に乗り、リフ
トで昇降する体験。身体障害の姉がいる小学生の
妹は驚きとリフトの力強さに目をランランと輝かせ
ていました。

各コーナーのボランティアスタッフは、この体験を
通してボランティアの芽が
ひとつでも育っていく
ことを願ってやさしく
丁寧な対応をして
おられました。

(豊中アッシー
T. I.)



「車イス体験」

原田小学校 五年
四方 彩さん

私は、えみさんの話を聞
いて、車イスのひとのことが
よくわかりました。

一つ目は、車イスをおし
ている人と、信らい関係が
ないとのついている人は、とて
も不安でこわい、というこ
とがわかりました。私が車
イス体験をしている時、お
している人がふらふらして
いて、とてもこわかったで
す。だからもし何年間も付
きそいの人とくらさなけれ
ばならない時は、とても不
安だろうなあーと思いまし
た。

2つ目は、車イスの人に
はずつと近くに人がいると
は限らず、自分でできるこ
とはやっているということ

福祉体験作文

「体験の中で感じたこと学んだこと」をテーマに市内の
小・中・高校の児童・生徒を対象に作文を募集し、77点
の応募がありました。この中から4名の方にボランティ
アフェスティバルで発表していただきました。

す。私は、今まで車イスの人に
は必ず付きそいの人がいると
いうイメージがあつたけどど
つていたので、すごいなあーと
思いました。

私は、今日きいたことを忘れ
ず、町で車イスの人を見かけ、
こまっていたら手伝おうと思
いました。

《その他発表して
いただいた方》

「点字学習をおえて」

第十七中学校 一年

山内 拓磨さん

「桜井谷ティサービスセンター」

第二中学校 一年

播本 奈々さん

「インスタントシニア体験を通して
感じたこと」

第十四中学校 一年

大橋 拓実さん

災害支援訓練

毎年、豊中市社会福祉協議会では災害支援訓練を開催しています。今年は、1月17日(土)に開催。午前7時30分に震度6強の地震が豊中市全域に起きたことを想定し訓練を行いました。また、今年は野畑校区福祉委員会と東丘校区福祉委員会でも、災害支援訓練を実施し、重度障害者等安否確認などをそれぞれ行いました。

野畑校区福祉委員会での
重度障害者等安否確認の様子・・・



阪神淡路大震災では、ひとり暮らしの高齢者や重度障害者(児)は生活支援体制が確保できない事から、生活の維持や生命の維持が困難だったことが明らかになりました。

この事を教訓に、災害時に重度障害者安否確認をスムーズに行うことができるよう、事前の訓練を実施しました。

△△「〇〇さん、こんにちは。校区福祉委員の△△です。今日は訓練ですが、震度5弱以上の地震が発生したという想定で、対象者の方の安否確認にお伺いしました。」

〇〇「それは、ご苦労さんです。去年来ていただいたのもあなたでしたかしら？」

△△「ハイ、そうです。私たち地域の福祉委員や民生委員が手分けして確認訪問をさせていただいています。」

〇〇「ありがとうございます。ほんまの震災の時は、学校まで自力で避難するんですね。」

△△「そうです。極力、自力で避難してくださいね。私達も伺いますけど。近所の底力で、みんなが助け合いができるようになったらいいですのにね。(心の中で)ほんとに災害がきたら、みんなどうなるのかしら・・・」



レポート

あの時のボランティア活動、そして今・・・

私がボランティアを始めたきっかけは、9年前の阪神淡路大震災です。あの朝、2階で寝ていた私は、あと一揺れすれば家が倒れるかと思いました。家族が無事だったことに心から感謝しました。

2日後、ラジオで各自が用意した物資をリュックに詰め、西宮北口から歩いて避難所に届ける健脚ボランティアを知り、参加しました。その後、豊中で震災ボランティアとして活動を始めました。初めの頃は、避難所で救援物資の仕分けや炊き出しの活動を行い、その後ボランティアセンターでボランティアの需給調整を行いました。

一段落した5月に、高齢者や介護する家族を支援するボランティアグループ「ステッキ」に誘われ、メンバーになりました。約束した事は守るよう

に心がけ、できる範囲で無理せず現在まで活動が続けています。仲間やいろいろな人との出会いが楽しみです。これから心と体が健康な限り続けていくつもりです。(ステッキ T. N.)



当時のボランティア活動の様子
体育館で救援物資の仕分け

ボランティアは今

豊中市内には、保育所、障害児・者関連施設、高齢者関連施設などさまざまな施設があります。ボランティアセンターへも様々な施設からボランティア募集依頼が増えています。今回は、施設でのボランティアについてご紹介します。

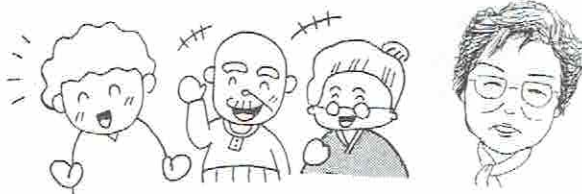
ボランティア受入施設 シルバーティハウスあさひ

あさひは自立支援、生き甲斐育成という目的のために各種文化教室を開いていますが、その講師の先生は皆高齢者の方々の役に立ちたいという熱い思いを持つボランティアの方々です。和服リフォームクラスの講師は社会福祉協議会登録ボランティアグループ「小さな手」の山口先生です。大変人気のクラスの一つで1階教室がいっぱいになり2階教室と2室を使って行っています。65歳から90歳の皆さんがそれぞれの腕前に応じた課題に取り組んでいます。みんな先生を独り占め

したくて先生は引っ張りだこです。クラスのない日も空き教室に集まって、課題に取り組むなど大変楽しい仲間作りができています。

あさひさんに行くようになって早3年目を迎えようとしています。

何をしているのかと言われると、和服のリフォームをしているのです。皆さんと楽しく縫っています。ベスト・スカート・ワンピースなど色々な物を、自分の着なくなった着物、羽織を持ってこられ楽しくおしゃべりをしながらほどこいたり縫ったり、90歳位の方が、母が着ていたものと素敵なちりめんの着物でブラウスを手縫いで作られたときは、みんなで拍手をして喜んだり、私も力まず長くお付き合いをして生きたいと思います。



「小さな手」 山口さん

他には・・・

施設種類	ボランティア受け入れ内容
高齢者関連施設 (特別養護老人ホーム、 ディサービスセンター、 グループホーム、病院、 老人保健施設など)	(日常支援) 話し相手、外出の際の付き添い、 お花・書道・手芸・体操・絵手紙・音楽療法などの指導、 シーツ交換、入浴後のドライヤー介助、 (行事支援) 夏祭りやお花見、お餅つきなどイベントの手伝い、 など
障害者作業所等	作業の手伝い、イベントの手伝いなど

* 各施設独自で、さまざまなボランティアの受け入れをしているところもあります。

受け入れ施設によって、活動内容や受け入れ態勢が異なります。必ず施設の方の指示にしたがって行動しましょう。



受け入れのために、施設では準備して待っています。無断欠席はやめましょう。



活動と社会参加をつなぐ

ボランティア・トレーニングコース

「ボランティア活動をしているけど、他のグループはどんなことしているのかな？」新しい出会いを通してまちの課題を共有し、互いにつながるきっかけづくりをすることを目的に、とよなか国際交流協会、とよなか男女共同参画推進財団、豊中市政研究所、豊中市(市民活動課・職員研修所)、豊中市社会福祉協議会の共催で実施しました。

第1回

・日時:1月31日(土)

13:30~16:00

・場所:すてっぷ



まずは、講座の趣旨説明。アイスブレイクとグループワークによって、各分野で活動している参加者同士の出会いと活動をつなぎます。その後、福祉、国際交流、男女共同参画、環境など各分野から、それぞれのボランティア活動や市民活動の状況、取り組んでいる事業について説明を聞きました。

いろんな分野で、いろんな人が、
いろんな思いで活動しています。



次回のフィールドトリップのためのオリエンテーションを行いました。体験受入れ団体は、22団体。各受入れ団体の方が団体の紹介を行いました。

初めて知る団体などがたくさんあり、みんな熱心に、時にはメモをとりながら耳を傾けていました。その後、グループに分かれて、活動についての意見交換を行いました。

第2回

・日時:2月7日(土)

13:30~16:00

・場所:すてっぷ



活動体験ツアー ～フィールドトリップ～

参加者が、各自希望の団体の活動現場へ出かけて行き、説明を聞き、共に活動を行いました。

身近な環境について考えたり、障害者や子ども、高齢者、外国人について理解を深めました。自分自身の活動や生活を見直すきっかけとなったり、たくさんの知人を増やし、新たな活動分野・方法を見つけた方もいました。



第3回

・日時:3月6日(土)

13:30~16:00

・場所:福祉会館



参加者と活動体験受入れ団体と一緒に、体験のまとめをしました。活動先へ行って感じたこと、受け入れて感じたこと、そしてこれからそれぞれの活動でこの体験をどのように活かしていくことができるか、また、つながって共に活動を行なうことができることなどについて話し合いました。

国際交流と福祉、環境と福祉など分野を超えて、共に活動を行なう約束をされている団体などもあり、確実に輪が広がっていました。



安心して活動するために・・・ ボランティア保険ってなあに？

ボランティアセンターでは、安心してボランティア活動を行うために、ボランティア活動に関する各種保険の取扱を行っています。

ボランティア活動保険

保険内容	保険料	補償額
① 傷害保険	500円	1,000万円
② 賠償責任保険	500円	1,000万円
③ 天災損壊保険	700円	1,000万円

★ ボランティア保険とは…

ボランティア活動中(日本国内)の偶然な事故により、

- ① ボランティア自身がケガした場合に対する「**傷害保険**」
 - ② 活動対象者などの他人の身体・財物に損害を与えて場合に対する「**賠償責任保険**」
- がセットになった、ボランティア専用の保険です。

* 小・中・高校生も加入できます。

* 保険料:Bプラン 500円

Cプラン(天災担保) 700円

事故がないのが一番だけど…

★ 対象となるボランティア活動とは…

自発的に社会に貢献する目的をもって日本国内で取り組まれる活動で、かつ

- ① 無償の活動(交通費、食事代、材料費など費用弁償程度の支給は無償の範囲に含みます)
- ② 所属ボランティア団体における活動
- ③ 活動のための学習会、研修会、会議や活動場所への通常経路による往復途上も活動中とみなします。

* 自助活動や、海難、山岳救助ボランティアなど一部対象外になる活動があります。

★ 保険金がもらえるのはどんな場合…

【傷害事故】

- ・ 清掃ボランティア活動中、ボランティアが落ちていた空き缶で手を切りケガをした。
- ・ 活動中食べた弁当が原因でボランティアが細菌性食中毒になった。

【賠償責任事故】

- ・ 障害者の車イスの操作を誤り、転倒させてケガを負わせてしまった。(対人)
- ・ 老人ホームで活動中、誤って器物を破損した。(対物)

* ボランティア本人の脳疾患、疾病、心身喪失などによるケガや、他覚症状がない頸部症候群(いわゆる「むちうち症」)または腰痛など保険金をお支払できない事項もあります。

活動中に、記録を撮ろうと思ってメンバーが持ってきたカメラを落とし、しまいました。フラッシュの部分の破損。

でも無事に保険で対応でき一安心。

所属しているボランティアグループの定例会に行こうとして自転車に乗っていたら転んで骨折。
通院保険金が出で一安心。



でも、安全にはくれぐれも気を付けないとね！

* この他にも、「ボランティア・市民活動行事保険」、「非営利・有償活動団体保険」、「移送中事故傷害保険」があります。なお、上記保険は、平成16年度の内容です。今後改正される場合があります。詳細については、ボランティアセンターまでお問い合わせください。



厚生労働大臣から 感謝状

毎年、豊中市社会福祉協議会では、継続して活発に活動を行っている市内のボランティアグループや小・中学校を厚生労働大臣表彰や大阪府知事表彰へ推薦しています。

今年は、豊中市立庄内南小学校が長年にわたるボランティア活動に対して厚生労働大臣より感謝状が授与されました。また、豊中市立第九中学校、豊中市立克明小学校が大阪府知事表彰を受賞されました。

豊中市立庄内南小学校

校長 坂毛 正明

平成16年2月13日、エルおおさか大ホールで行われました平成15年度 大阪府社会福祉大会において、本校が厚生労働大臣から感謝状をいただきました。長年の福祉ボランティア活動に対する感謝状ですが、これは何をさておいても、地域の皆様のご指導・ご支援・ご協力の賜物と感謝しております。

本校区の社会福祉協議会の活動は大変活発で質も量も豊かです。また、本校舎の空き教室を利用して作られましたコミュニティールームは社会福祉協議会の皆さん

の管理のもと毎日開放されていて、地域の皆様の憩いの場となっております。

そのような社会福祉協議会の皆様のお力をお借りしながら昨年からの実施となりました新教育課程での「総合的な学習の時間」で福祉ボランティアをしているに過ぎず、今回の受賞には大変恐縮すると共に、地域の皆様に感謝している次第です。

今後とも地域の皆様と共に福祉教育の発展のために尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

★ 使用済みプリペイドカードを集めています！！★

「もういらないから・・・」捨ててしまおうと思っている使用済みのテレフォンカードや交通機関のカードを、福祉のために役立ててみませんか。市社協では、使用済みプリペイドカードを集めています。カードは換金して市社協の事業費として活用させていただきます。

◆対象となるのは： テレフォンカード、ラガールカードなど

【お問合せ】 豊中市社会福祉協議会 Tel 6841-9393

編集後記



2月29日のボランティアフェスティバルも無事終わり、平成15年度の活動計画もほぼ終了しました。本年度の活動はいかがでしたか。春の明るい陽射しを浴びながら、この一年を謙虚に反省し、来年度の希望と計画を描いてみる一日をもってみても良いのでは。（ステッキ K. S.）